

地域ネットワーク会議 開催結果

【日時】平成21年8月12日（水）13時30分～15時

【場所】西小学校 プレイルーム

○参加者（計22名）

西町連合町内会 3名・扇町町内会連合協議会 5名・防犯協会 3名・PTA 2名

青少年育成会 1名・西小学校 2名・関西中学校 1名・滝川警察署 2名・市 2名

1. 開会 : 進行 暮らし支援課 高嶋主任級主事

2. あいさつ : 暮らし支援課 樋郡主幹

お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。

昨年度、市民の皆様の意見を伺いながら「滝川市安全・安心地域づくり条例」を4月1日より施行いたしました。その柱のひとつである防犯に関する事業で何を進めていけばよいかという中で、道の「防犯活動推進地区」についての話があり、指定を受けると様々な支援を受けることが出来るということで、滝川市西地区の連合会長さんとの相談の上、推進地区に手を挙げていただいたという経緯があります。この地域は平成18年より自主防犯組織を立ち上げていただき活動していただいております。もしかしたら、この推進地区指定に伴い今まで以上にご協力をお願いする部分も出てくると思いますが、よろしく申し上げます。

今までもこの地域は、それぞれの団体が違った形で連携をとっていたと思いますが、このネットワーク会議のように一堂に会する機会はなかったのかなと考えております。今回はネットワーク会議の一回目という事で、それぞれの活動団体を知っていただきながら、単独で活動するよりは、いろいろな団体が力を合わせてやればもうちょっと効果的に出来る部分もあると思いますので、その側面を行政と一緒にお手伝い出来ればと考えておりますので、よろしく願いいたします。

3. 議題

1) 防犯活動推進地区について：高嶋主任級主事 資料に基づいて説明

2) 滝川市の現状と近況について：滝川警察署 生活安全課 才木係長

今日の集まりました会議をうまく進行するためにも、地域の現状をもっと知っておいた方がいいのではないかとこの事でお話させていただきます。

資料の「声かけ事案・不審者事案発生マップ」をご覧ください。マップを見ていただければわ

かる通り、線路より西側はまだ一件も声かけ事案がありません。これは、日頃の皆様の活動の成果ではないかと感じております。全体的には、昨年度よりも、今年度声かけ事案が少なかったのですが、最近声かけ事案が増えており、本日もここに来る途中声かけ事案の110番がありました。現在警官が行っておりますが、ダイエーで小学生の女の子が大人におしりをさわられたという事例です。道警でも、このような事例に対して断固として、がっちり戦っていこうと取り組んでおります。生活安全課も人数が増えて、今まで4人でしたが、5人体制になりました。しかし、現在課長が東京の警察大学に4か月間行っており不在で、その間は私が担当しております。

資料を見てもわかる通り、小学生に対するものは数件ありますが、最近特に目につくのは、東小学校周辺において、ジュースを買ってあげるといふ事案が非常に多く発生しております。断ったら今の所何もなく立ち去っております。それに、女性が抱きつかれたという事例や、女の子がおしりさわられた事例もあります。また、先日市内のセイコーマートにおいて、高校の女子生徒が大人に「エッチをしよう」と言われ、立ち去らず外の車で待っているという事例もありました。最後は店の人に言い、通報に至ったという事例もあります。現実にその様な不審者がおります。去年は、通学途中の中学生に対して、つけ回すなどの事例がありましたが、今年はまだ発生しておりません。

差別的な発言になるかもしれませんが、精神的に障害がある人がそのような方向に興味がいき、事件になる場合が結構あります。女性につきまとして、触ろうとしたり、実際に足に触ったという事例があります。

滝川市民だけでなく、芦別・赤平・砂川・深川・雨竜の人達が集まるので、非常に多くの方が訪れます。市役所・市立病院やコンビニで徘徊する人もおります。どんなに注意しても、親元に連れて行っても、タクシーで戻ってきて繰り返します。特に女性に対しては、年齢に関係なく目がいき、つけ回します。そのように、滝川市はいろいろな事、殺人から強盗まで幅広い範囲で発生する地域です。そういう事を認識していただき、自主パトロールをするにあたり、自分の身を守る事が一番先です。確かに、子どもを守る事も大切ですが、自分の身を守る必要があるという事です。

緊急の場合は、110番するなりしていただきたいと思います。通報が早ければ早いほど、立ち上がりが早くなり、警察としても空いている人員を総動員して対処しなければ捕まえない状況になっております。

昨夜、81才の痴呆のあるおじいさんが、家族の方の制止を振り切って外に出てしまったという事で、110番がきました。すでに、痴呆があり体力が弱っているおじいさんでも、警察車両8台投入しましたが、なかなか発見できませんでした。そういう状態なので、立ち上がりは早け

れば早いほど、捕捉が早くなります。

次に、学校の先生方をお願いなのですが、不審者通報があった場合は、子どもはお母さんに言い、お母さんから学校の先生に言い、先生から警察に電話が来るといった流れになると思います。また、お母さんから学校へ言うのが次の日の場合は、完全に1日経ってしまっております。今まで、不審者情報で逮捕出来たのは数件しかありません。

不審な大人を少しでも、警察が警告するなどして排除していかなければなりません。その中で精神的に障害があれば病院に入ってもらいなどしなければなりません。

つきまとい・ストーカーに関しては、ごくごく普通の人の方がやる場合が多いです。去年は2名逮捕し、一昨年は1名逮捕しております。何度注意しても、やはり逮捕しなければ効果がありません。

次に、「滝川警察署における刑法犯認知件数（平成21年）」をご覧ください。7月末現在の件数を示しております。今の段階では、昨年度と比べて若干件数としては減っております。3の窃盗犯認知件数を見ると、今年は万引き・自転車盗・車上ねらいが圧倒的に多いのがわかります。その中で、万引きが73件ありますが、その内訳として大人と子どもではどちらが多いと思いますか？実は、大人が圧倒的に多いという結果があります。背景としては、小学生は動作が鈍いのですぐ捕まります。中高生になると、動作が速くなりなかなか捕まらないという事もあります。大人の中の内訳としては、高齢者の万引きが非常に多いです。最高齢87才です。多い時には、1日2～3件あります。

次に、自転車盗に関しては、場所としては栄町が多く、スマイルビル周辺・駅周辺が多いです。背景としては、通学している高校生・遊び歩いている中学生による盗難が非常に多いという事です。その中で、7月の統計をとったところ、24件あり、その中で鍵をつけていない自転車は19件でした。そういう事で、学校にお願いしたいのですが、自転車の鍵をツーロックにするように指導してほしいと思います。警察では、今ツーロックという運動をしております。

そして、車上ねらいがあり、現代的を絞って張り込みや追尾を徹底的に行っております。犯罪の手法としては、ほとんど窓を割るというパターンです。ボールのようなもので、窓を割ってしまうという手法です。中を見たら、ハンドバックなどが見える所においてあります。この間張り込みをしていたら、ハンドライトで車の中を見て、確認しておりました。その日は結果的に見ていただけなので、犯罪の発生がなかったため捕まえる事は出来ませんでした。このように、確認しながら、窓を割って中のものを盗ろうとしております。皆さんも地域に戻ったら、警察がこの様な話をしていたと話をしてほしいと思います。その他、地域でいろいろな困った事がありましたら、生活安全課の私あてに言ってもらいたいと思います。

最後に、防犯グッズに関して、くれぐれも無くさない様にさせていただきたいと思います。これは、国の予算で来たものであるので、管理をよろしくお願いしたいと思います。

3) その他：質問・意見

扇：扇町町内会連合協議会 西：西町連合町内会 防：防犯協会 青：青少年育成会
P：PTA 西：西小学校 警：警察 市：滝川市

扇～青色回転灯に関して、町内会で話し合い手を挙げる事になったが、どれくらいの灯数を貸していただけるのかを教えてください。

警～趣旨を理解していただければ、灯数に制限はありません。申請書類等は警察でやります。

防～可能な限り早急に手続きしていただきたい。

警～あと、10月に入ると「秋の全国地域安全運動」ということを行いますが、西小学校の駐車場をお借りして、滝川の全ての青色回転灯を集めて出動式を行いたいと考えております。昨年は東小学校の駐車場で行いました。今のところ3～4台ならばすぐに用意出来ます。青色回転灯を回してパトロールしていただくと、夕方とても目立つので、効果が期待出来ます。

扇～早急に申請したいと思います。次に、市に対してですが、2年前に扇町のコミュニティセンター近くに横断歩道をつけていただきたいという要望を出したのですが、結果はどうなりましたか？

市～市では、皆さんの要望が来たものを毎年12月に警察に要望をあげております。しかし、扇町だけでなく、他の地域から要望はたくさん出ております。その中で優先順位をつけて、現地を確認しながらつけるという流れになっております。前回においては、採択にならなかったという結果ではありますが、また市としても警察に要望をあげていきますが、他の地域もありますので、なかなかすぐにとはいかないかもしれない事はご了承ください。

警～規制係があり、優先順位をつけて、公安委員会から予算がついた順にやるという流れでやっております。

市～市としては、信号・横断歩道・一時停止に分けて警察に上げております。

4. 意見交換

防～東滝川支部の情報を提供させていただきたいと思います。東滝川連合町内会というのは、農家の7区、試験場の1区、駅前の1区、こすもす町内会の1区の計10区で構成されております。

す。連合町内会として、期間・分担を決めた形での自主防犯活動を行っておりません。しかし、この地域は古い地域なので、東滝川防犯協会に任せられており、防犯協会の会員は37名おり、随時活動を行っております。年間報告では、10～13日/月で活動を行っている事になります。また、私としては、市役所で会議があった場合に、その帰りに防犯活動を行ったりしております。

扇～扇町の地域は西小学校を中心とした、登下校の見守りを行っておりますが、防犯活動に関してはなかなか出来ていないのが現状です。扇町1区町内会としては、今年度正式に防犯部長を作りました。併せて、災害があった時に救助をするために、全町内会にアンケートをし、救助の名簿を作成しました。しかし、災害時には基本的に皆逃げるので、その辺のシステム作りが困難です。今回のネットワーク会議を開催するという事で市役所から連絡いただき、各団体が集まりましたが、現時点で連携をとって何かをやった事は今までにありません。実際に、各団体がやるという事が重要だと考えます。その連携体制が出来ていない事が問題だと思います。

市～実は、皆さんと一緒に行動した事は今までにないと思います。そういう事も承知の上で、今回このネットワーク会議を開催させていただきました。自主防犯パトロールを行うにあたり、西小学校の正門前に各団体が集まり、駐在所さんも集まっていたいただきましたが、一堂に会したのはその時だけではないかと思います。この地域ばかりだけでなく、町内会の役員さんが中心で自主防犯パトロールを行っている方々は、高齢の方が多という話を聞いているのも確かです。率直な話、せっきくの機会なので、この様な声があると聞きいただければよいと思いますが、町内会の活動は高齢者の方々が中心的にやっていただいて、自主防犯パトロールも同様のことが多いと思います。この方々は子ども達を守る為にパトロールをやっているけれど、実際PTAの方々は町内会活動にどのように関わってもらえるのかという話も聞きます。ちなみに、江部乙地区は最初から町内会・PTA・小中学校の校長・教頭にお集まりいただき、皆さんで協議をしてスタートから立ち上げた活動を行っております。今では、各団体が話し合い曜日を決めて、交代で見回りをしていると聞いております。声かけ事例としては、江部乙は少ないですが、もしあった時は、その方々に連絡が行き、すぐに対応するようなシステムが出来ております。その点に関しては、東滝川も同様であると思います。東滝川も、市には連合で手を挙げていただいたものでありますが、実際は地域の防犯協会の東滝川支部の方々に活動していただいております。最近の事例でいえば、東町・緑町では、スクールガードとして週一回連合の方々に見守りをしていただいております。また、防犯の部分でお困りとおっしゃっていましたが、決して犯人を捕まえるという訳でなく、あくまで防犯として犯罪を未然に防ぐ活動をしていただきたいと思います。例えば、腕章をして歩くといったりする事により、抑止力にな

ると思います。これによって、そういう危険な人が入ってこない地域をつくるという事が重要だと思います。

西～4つの町内会で連合が成り立っております。3年くらい前から、町内会長が中心になってパトロールを行っております。最初は4人くらいで活動を行っていたが、今では役員の方々が集まって日程を組んで活動している。パトロールを行う際には、学校に低学年の下校時間を教えてもらい、週1回程度見回りを実施している。それぞれの町内でどのようにまわっているかはわからないが、私のところは40～50分くらいかけてまわっています。活動を続けてきて、子どもが挨拶してくれますし、防犯としての効果もあると考えています。このような活動を通して、連携というのは非常に重要であると感じており、今回の会議は非常によい事だと思います。

扇～扇町はスタートの段階では、扇町の連合の役員が中心になってやりましたが、その後は町内会に振り分けて活動を実施しております。しかし、町内会は高齢化しており、会員も減っているので、それぞれの頻度が非常に多くなってきています。今後は雪も降り、さらに厳しい状況になると思います。防犯に関しても、抑止力になっていると感じております。

P～日頃から子ども達の見守りをやっていただきまして、町内会の方々に感謝の気持ちで一杯です。ありがとうございます。今まで話を聞いておりまして、学校の方で、どのような活動をしているのかを知っていただく事が必要なのかと思いました。クラスから4人ずつ役員を出して、その方々が1年間活動するという事でやっておりましたが、子ども達が少なくなった事もあり、今では保護者全員がなにかしらの活動を行うという事でやっております。このような防犯活動に関しては、校外指導部というところがやっております。大幅に人数が増えまして活動しているところではありますが、まだまだ不十分だと感じておりますので、いろいろな意見を聞かせていただきまして、学校に持ち帰り、保護者の方々にお話し、より有効に皆が活動出来るように、町内会と連携していけるようにしたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

扇～過去夜に見回りをした事があります。なぜこの見守りをやったかという、夜中に子どもがゴルフ場に集まってお菓子を食べて騒いでいるという通報があったからです。そのお菓子の出所は万引きでした。よって、扇町の連合で見回りをしたところ、当時携帯電話が出たばかりなので、通報する際どのようにしたらよいかという問題も出ました。結局、夏休みが終わり反省会をした結果、もし襲われケガした場合の問題もあり、交番の方に危険な事は絶対にしないでくださいと言われた事もあるのでやめました。その様な経緯があり、今の自主防犯パトロールにつながっていると思っている。

青～育成会という立場として、町内会・PTA・学校の方々と連携を取らなければと思いました。

現在夏休み期間中ということで、ラジオ体操を行っており、これも一種の見守り活動だと考えております。私自身も当時不審者対策として、子どもだけのラジオ体操はやめて欲しいという要望もあり、なんとか地域の皆様のご協力の上でラジオ体操を実施出来ないかということで何年かかかって、地域の皆様のご協力を頂いて非常にいい形に持って行けたと思っております。

子ども達が安心してラジオ体操が出来る状況になっていると思っております。

保護者の方々が町内の活動に全然参加してこないという話をよく聞いております。そういった意味では、PTAの皆様ももっと考えなければと感じております。そういった部分で、PTAもなんとか出来ることは少しでもお役に立てる事はやっていきたいと考えております。しかし、やはり地域で犯罪を無くすためには、地域の皆様のご支援もなければ難しいと感じております。その辺うまく連携が取れる形になればと考えております。実は、西小学校の校長先生との世間話の域を出てはいませんが、子どもを見守る組織を作りたいねと話しております。校長先生の方からも、例えば登校の時間に、庭の手入れをしていただき、子ども達が安心して登校出来るという環境づくりを進められたらという話もありました。先ほど、何かこの事に関して組織を作ってやっていかなければと話に出ましたので、私の様な組織のものが音頭を取って組織作りをしなければと感じております。今日、このネットワーク会議という場も出来ましたので、市とも連携を取らせていただきながら、近いうちに組織立てて出来るように努力していけたらと考えております。

学～子ども達の見守りだけでなく、様々な部分で皆様にお世話になりまして、ありがとうございます。今回の趣旨につきまして、全くその通りだと思っており、うまく軌道に乗せたいと思っております。ただ、そのやり方や方法、組織について考えがありまして、実はこういう活動は子どもを持っている親や実際に指導している学校が主に考えていかなければと考えております。そこが一番動き出して、地域や関係する団体をお願いしていかなければと考えておりまして、その点では、まずPTAと話し合いましょうと言っております。これまで経験した中で、ある地域は、地域に関係する24団体全部に「子ども安全見守り隊」というものに入っただき子どもの見守り活動を行いました。今回いただいた資料の中で、無理なく継続できる活動という事がありましたが、そういった意味では、例えば、老人クラブに何人か出してほしいと言った時に、人がなかなか出せないという場合には、そしたら出来ることはなにかというと、登校時間は人がいるので大丈夫だと感じており、必要なのは下校時間だと思っております。子どもの下校時間をお知らせするので、その時間に買い物に出かけるなり、犬の散歩をするなり、窓を少し開けるというだけでも効果があるので、お願いしますと言っております。この様に、環境作りを地道に協力して行い、安全で安心な地域づくりを行ってございました。今日はいい機

会なので発展させて、防犯活動推進地区の指定がなくなっても出来るような組織を作っていけたらと考えております。もう一つ、学校の事情を聞いてもらいたいと思います。先ほどいろいろな取り組みをするという話があり、その趣旨についても賛成でやりたいのですが、例えば学校で何かの時間にやるとすると、今、防犯もあれば、防災もあり、低学年と幼稚園のふれあい、高齢者のふれあい、環境、図書館など、一杯やってもらいたいという事業が一杯あります。そしたら、限られた教育活動の中では選択する必要がありますので、全てこの形でと言われると出来ないものも出てきます。よって、趣旨を踏まえながら、私たちが出来る形でやらせていただきたいと思います。そういった意味では、例えば地域安全マップに関しては、子ども達とフィールドワークという話がありましたが、前の方法としては子どもから2日間限定し、登下校の時に危険な場所を見て書いてもらいました。同時に関係する団体から同じように危険な場所の情報を持ち、それでマップを夏と冬に作成しました。それもフィールドワークとして当てはまるのではないかと感じております。実際子どもは歩いており、見ているので、それを学校サイドで検証しマップに落とししていく、その様なやり方も可能なのかなと考えております。そういった意味では、学校の日課とかも十分相談していただきながら実施していけるのかなと感じております。

5. 閉会